

2019年度子ども大学はすだ・しらおか 第1回講義を実施しました

令和元年6月30日(日)、蓮田市閨戸(畑)にて、子ども大学はすだ・しらおか 第1回講義を開催しました。

時間	内容
10:00~12:00	講義： 種まき会で世代間交流！ 講師： 橋本佳奈先生（花育士） 岩崎多加志先生（地元米農家） 人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科 中山和久先生

第1回 種まき会で世代間交流！

一時限目

まずは中山先生の授業からスタートです。

ひまわりの由来、みなさん知っていましたか？他の花とは違う大きな特徴が、名前に隠されていましたね。

葉っぱの形や、育ちかた、歴史にいたるまで詳しく教えてくれました。

ひまわりの種は、メジャーリーガーが好んで食べるほど栄養価も高いのが特徴。

保護者の方もなるほど～！と一緒に授業を受けていただきました。

今では、茎が細くて鑑賞用にぴったりの『ビックスマイル』という品種が多く出回るようになっていて、日本では7割、ヨーロッパでは8割を占めています。そしてその品種を開発したのは…なんと日本人の方なのだそうです！

お花屋さんで見かけるひまわりは、日本人の方の努力によって作られた革命の証だったのですね



二時限目

さあ、いよいよ種植えです！

と、その前に、名札にかかれた暗号に注目。

今日種植を一緒に行うペアを制限時間内に探せるか挑戦しました！

最初からわかってたよ～なんていう頭脳派な学生さんもいましたね。

ペアができればメジャーリーガーのように一緒にひまわりの種をモグモグ…どんな味がしたかな？



雨も本降りになってきてしまいましたが、
いよいよ橋本先生、岩崎先生の授業スタートです。

『土に触ることで心が休まったり、セロトニンと呼ばれる物質が脳からたくさん出ているんです』と花育士の橋本先生が教えてくれました。

岩崎先生が耕してくれた土にみんなで入ってみると…

『わぁー！！』『ふっかふか！』『ふわふわしてる！』嬉しそうな声が次から次へと飛び出しました。



種の植えかたには2つのコツがあって、みなさん真剣な眼差しで聞いていましたね。
ペアで協力しあって長さを測り、種の向きを確認しながら慎重に植えていました。
最後に手作りのプレートを作成して、完成です！



雨のなかでもなんのその！どろんこ遊びもできて楽しい1日でしたね！

みんなのひまわり大きくなあれ！

次回は7月28日(日)です。お楽しみに♪

